

東芝ライテック(株) 沼津工場 サイトレポート情報

| | |
|---------------|---|
| 所在地 | : 静岡県沼津市原2608-58 |
| 敷地面積 | : 34,338 m ² (建家面積: 10,139 m ² 、緑化率: 26%) |
| 従業員 | : 414人(2016年3月現在) |
| 主要製品 | : 施設用照明器具、LED電源 |
| ISO14001認証取得日 | : 1996年10月29日 |
| 最新更新年月 | : 2014年10月29日 (ISO認証番号: EC99J2026) |
| 有効期限 | : 2017年10月28日 |



ごあいさつ

東芝ライテック(株)沼津工場は、静岡県東部の富士箱根伊豆国立公園に囲まれた温暖で、水と緑に恵まれた自然環境の中で事業展開しています。工場では施設用LED照明器具及びその構成品のLED電源、配線用部品、金属プレス部品、樹脂成形部品等の一貫生産を行っています。LED照明器具の機種数を大幅に拡大し、使用段階でのCO₂排出量削減を推進しており、更なるLED製品の需要拡大に対応するための設備投資や、効率のよい生産体制の構築、製造ラインの生産性改善活動など、生産段階の環境負荷低減にも全員で取り組んでいます。



環境保全責任者 北島賢一 工場長

2015年度の環境の主な取組み

1. 環境マネジメント

- (1) ISO14001環境マネジメントシステム
 - ・2014年10月認証更新、2015年9月定期サーベイランス認証継続
- (2) 環境保全体制の充実
- (3) 法令、条例の順守

2. 事業活動における環境への取組みの改善

- (1) 地球温暖化防止
 - ・エネルギー起源CO₂総排出量生産高原単位 目標19.7t-CO₂/億円(前年2%削減) 実績17.2t-CO₂/億円(13%削減)
 - ・物流CO₂総排出量生産高原単位 鹿沼にて表示(全社一括管理)
- (2) 資源有効活用
 - ・廃棄物総発生量生産高原単位 目標6.40t/億円(前年2%削減) 実績6.08t/億円(5%削減)
 - ・最終処分率 目標0.5%未満 実績0.11%
 - ・水受入量生産高原単位 目標0.28千m³/億円(前年2%削減) 実績0.23千m³/億円(18%削減)
- (3) 化学物質管理
 - ・化学物質取引量生産高原単位 目標0.11t/億円(前年1%削減) 実績0.10t/億円(9%削減)

3. 環境コミュニケーション

- (1) 全員参加・啓発活動の展開
 - ・環境月間、3R月間、省エネ月間による環境啓発活動
- (2) 地域とのコミュニケーション
 - ・生物多様性の取組み(絶滅危惧種、希少植物の保護、育成)
 - ・構外清掃活動

沼津工場で製造する環境調和型製品の紹介



LEDベースライト TENCQOOシリーズ



TENCQOOシリーズ SORA IRO [ソライロ]

LED直管ランプ用器具

LED防犯灯



制御系製品



LED用電源

LED製品用内製部品

東芝ライテック株式会社 環境方針

東芝ライテックグループは、東芝および東芝インフラシステムソリューション社グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

社会インフラ事業を担う東芝インフラシステムソリューション社グループとして、環境調和型ソリューション・製品・サービスの提供と環境配慮都市の構築に貢献します。当社の事業分野である、照明商品、照明システムに加え、IT技術を活用した、HEMSやスマート分電盤、配線器具、蓄電池などの制御システムの製品の開発、製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティ社会実現を目指した環境経営を推進します。

1. 環境経営の推進

- (1) 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- (2) 事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防、生態系の保護などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- (3) 監査の実施や活動のレビューにより環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- (4) 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを順守します。
- (5) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- (6) グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

2. 環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

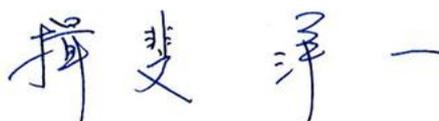
- (1) 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- (2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- (3) 気候変動の緩和・適応、持続可能な資源の利用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

3. 地球内企業として

- (1) 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- (2) 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

2016年6月22日

東芝ライテック株式会社
取締役社長

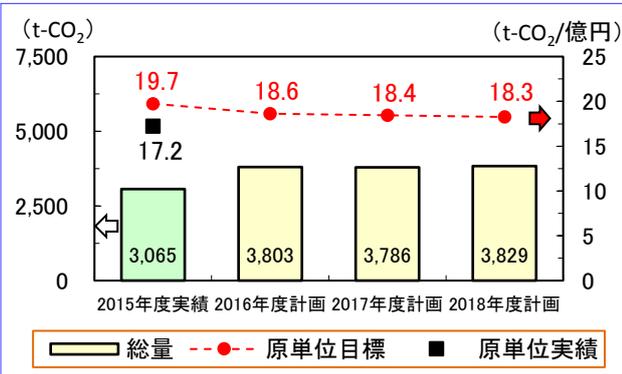


事業活動における環境への取組みの目的・目標

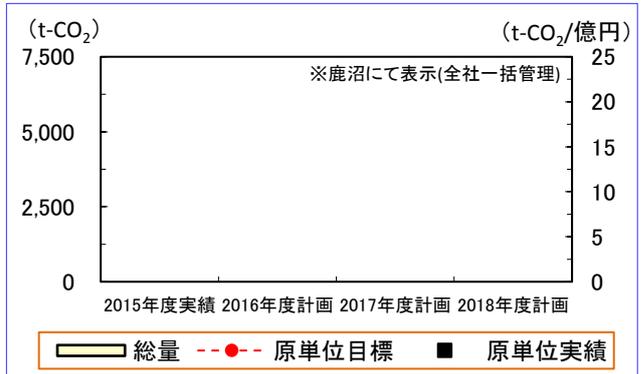
| 取組み項目 | | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|---------|---|--------|--------|--------|
| 地球温暖化防止 | エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円) | 18.6 | 18.5 | 18.3 |
| | 物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円) | — | — | — |
| 資源有効活用 | 廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円) | 6.45 | 6.32 | 6.18 |
| | 最終処分率の管理(%) | 0.35 | 0.35 | 0.35 |
| | 水受入量原単位の改善(千m ³ /億円) | 0.25 | 0.25 | 0.24 |
| 化学物質管理 | 化学物質取扱量原単位の改善(t/億円) | 0.11 | 0.11 | 0.10 |

環境負荷データ

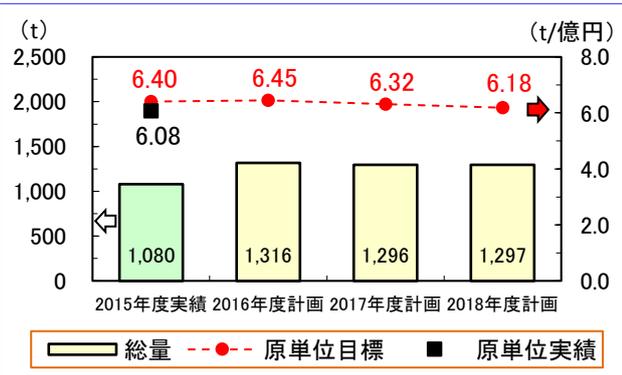
エネ起源CO₂



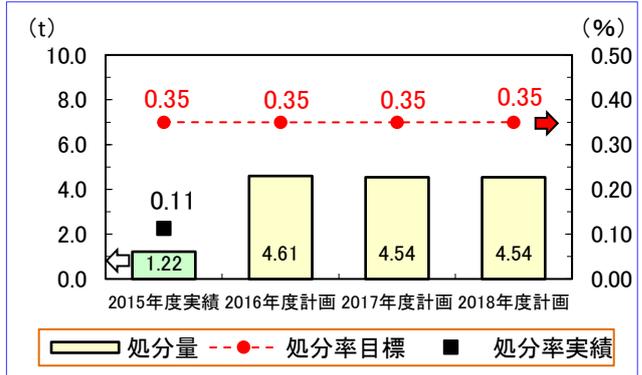
物流CO₂



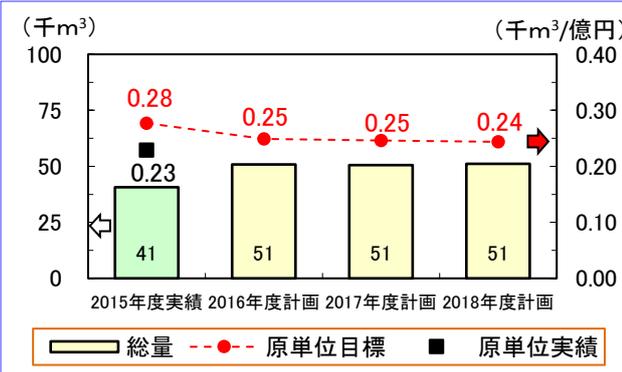
廃棄物総発生量



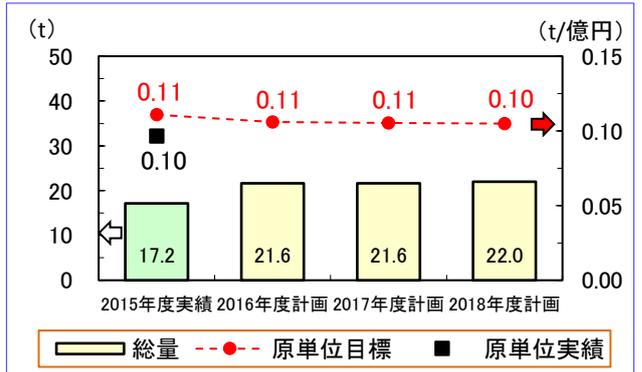
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



環境コミュニケーションの紹介

<高校生のインターンシップ受入>

沼津工業高校のインターンシップ受入を、毎年実施しています。今年も2日間に渡り、LED照明器具の組立作業を体験して頂きました。

(実施概要)

- ・日時: 2015年6月4日～6月5日
- ・参加人数: 6名



LED照明器具組立作業の様子

<沼津工場周辺の清掃活動>

6月の「環境月間」と、11月の「沼津市内一斉クリーン週間」の年2回、周辺の清掃活動を毎年継続して実施しています。

今年も工場横を通る国道1号線側道沿いと、工場入口周辺のポイ捨てゴミを拾う活動を行いました。

今後も地域美化活動として継続し、更に従業員の地域コミュニケーションに対する意識高揚を推進していきます。

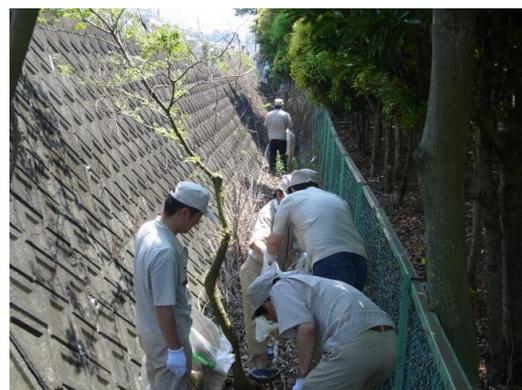
(実施概要)

●1回目

- ・日時: 2015年 5月20日
- ・参加人数: 110名

●2回目

- ・日時: 2015年11月10日
- ・参加人数: 110名



清掃活動の様子

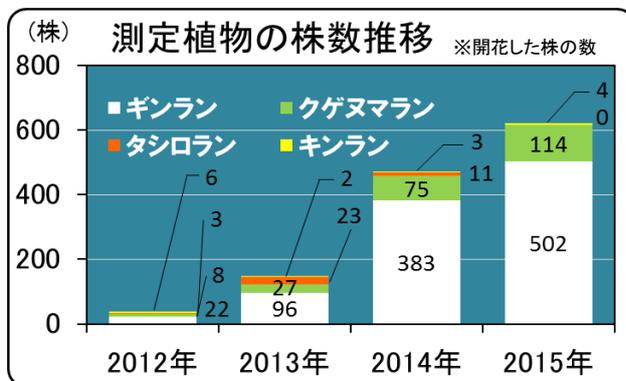
生物多様性の取組み

1. 指標種の選定

| 指標生物 | 指標生物の希少性 |
|--------|---------------------------------|
| クゲヌマラン | 環境省絶滅危惧Ⅱ類(VU) 静岡県絶滅危惧ⅠA類(CR) |
| キンラン | 環境省絶滅危惧Ⅱ類(VU) 静岡県準絶滅危惧(NT) |
| タシロラン | 環境省及び静岡県 準絶滅危惧(NT) |
| ギンラン | 環境省及び静岡県 指定なし 東京都絶滅危惧Ⅱ類(VU) |

2. 沼津工場内での保護・育成活動

工場北側に位置する調整池周辺の緑地帯に生息する植物の中から外部学識者による現地踏査を受け、希少植物と特定し、これを指標生物として保護、観察及び測定を開始しました。



ギンラン



クゲヌマラン



タシロラン



キンラン